

令和7年 北秋田市議会12月定例会
一般質問通告者一覧表

○ 一般質問について

登壇順	議席	氏 名	会 派 名	質問方法	日 程	備 考
1	4	福田 牧子	公明党	一問一答	1-1	12月4日
2	6	佐々木 正史	清明会	一問一答	1-2	12月4日
3	7	福岡 由巳	無会派	一問一答	1-3	12月4日
4	2	三浦 優美	共産党議員団	一問一答	1-4	12月4日
5	13	板垣 淳	共産党議員団	一問一答	1-5	12月4日
6	3	松橋 史尚	新創会	一問一答	2-1	12月5日
7	8	久留嶋 範子	共産党議員団	一問一答	2-2	12月5日
8	5	永井 昌孝	清明会	一問一答	2-3	12月5日
9	1	木村 謙一	無会派	一問一答	2-4	12月5日

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-1	質問者	4 福田 牧子	(公明党)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨					理事者の答弁	
1. 物価高騰対策						
①物価高騰対策支援事業について 政府は、物価高騰対策として重点支援地方交付金を2兆円追加。(うち食料品の物価高騰に対して0.4兆円を特別加算) 1) 現時点で重点支援地方交付金を利用しての生活者支援、事業者支援の計画について。 ②今年度実施したプレミアム付応援チケットの販売に対して、市民からの声として「購入したくても購入する為の現金がない」、追加販売の11月15日(土)の「午前中は、3時間待ちの列で、椅子もなく、高齢者は疲れ切って床に座り込む人も居た」との悲痛な言葉が届いた。また、イオンタウン特設会場での販売のため、阿仁地域や合川地域の方たちより不公平感を訴える声も届いている。 1) プレミアム付応援チケット販売、また、追加販売について、市民の声をどのように受け止めているか見解は。 2) 新たな食料品の物価高騰支援として、プレミアム付商品券を販売する予定はあるか。もし、販売する場合公平・安全な販売の工夫が必要と考えるが見解は。						
2. いじめ防止対策について						
①北秋田市のいじめ対策について 国のこれまでのいじめ対策の経緯は、平成24年7月の滋賀県大津市の自殺事案の報道があり、「社会総がかりでいじめに対峙していくための基本的な理念や体制を整備する法律の制定が必要」との事から【いじめ防止対策推進法】が成立(平成25年6月21日)。 「いじめ防止等のための基本的な方針」が策定され、各都道府県教育委員会等への通知を発出し周知。 平成29年3月「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定。 「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の策定。令和6年8月「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の改訂。						

令和6年度末の小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は769,022件、過去最多数となり、前年度に比べ36,454件(5.0%)の増加。特に小学校は約610,612件、前年度に比べ21,682件の増加で、低年齢化が顕著。

秋田県の不登校、いじめ、暴力行為の状況についての統計によると、令和6年度の公立小学校における不登校児童数は695人、いじめの認知件数は3,724人となっている。

いじめ対策における地方公共団体・設置者・学校(教職員)・保護者の主な役割について伺う。

1) 北秋田市のいじめの認知件数の推移は。

2) 各学校における

「学校いじめ防止基本方針」策定の有無。

「学校いじめ対策組織」設置の有無。

いじめに対する措置の有無。

学校全体でのいじめ防止・早期発見と対処の有無。

3) いじめ防止等の対策を実効的に行うための付属機関の設置の有無。設置している学校に対する必要な支援等または必要な調査の実施の有無。

4) 「地方いじめ防止基本方針」の策定の有無。

「いじめ問題対策連絡協議会」の設置の有無。

地域の状況に応じた施策の策定・実施の有無。

3. ケアラーの支援について

①ケアラーの支援について

厚生労働省のケアラーは、ケアを広範囲にとらえ、要介護高齢者や身体的・知的・精神的などの障がい者の介護、難病などの看病、あるいは病児や障がい児の療育、さらには依存症やひきこもりなどの家族や知人の世話や気づかいなど多様なケア役割を担っている人を「ケアラー(家族など無償の介護者)」と想定。

ケアラーの実態調査(厚労省)によると、ケアラーはケアすることで生活に制約をうけている(時間的に、精神的に拘束され、生活に影響もでているが、支えのない人もいる)。ケアラーは健康状態や経済状態、気持ち・負担感・孤立感等の問題を抱えており、支援を求めている。

1) 北秋田市でも実態調査や相談窓口等が必要と考えるが如何か。

②ヤングケアラーの支援について

新聞報道によると、北秋田市はヤングケアラーの実態把握を目的に「子どもの生活に関するアンケート調査」を児童生徒対象に実施し集計結果を発表。

回答者の1.4%が「ヤングケアラー」に「当てはまる」と回答。こども・若者育成支援推進法では、「国や地方公共団体が支援に努めるべき対象」と定義。北秋田市こども課のコメントとして、「関係機関と連携して詳細な状況を確認し、必要に応じて個別に支援していく」とある。

- 1) 関係機関との連携の実例の有無。
- 2) 詳細な状況を把握するための方策は。
- 3) 北秋田市こども課子育て相談係にヤングケアラーからの相談の有無。
- 4) 個別の支援はどのような事を想定しているか。

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-2	質問者	6 佐々木 正史 (清明会)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨				理事者の答弁	
<p>1. 耕作放棄地管理と熊対策や森林の多面的機能におけるゾーニングについて</p> <p>①遊休農地・耕作放棄地の再生に取組んでいる任意団体があるが、市当局及び市農業委員会としての受止めと当該取組に対して支援できないか。</p> <p>②昨今の熊・猪・鹿出没の対応策として、緩衝地帯（ゾーニング）の整備が必要と思われるが、各地区（自治会等）に委託して管理することは可能か。</p>					
<p>2. 公式ライン情報の充実について</p> <p>①子育て関連や昨今の熊出没情報についての情報伝達は実施されているが、災害時の通行規制情報についても、国道・県道・市道すべての情報を発信するべきと思うが如何か。</p>					

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-3	質問者	7 福岡 由巳	(無会派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 北秋田市文化祭のあり方について						
<p>① 令和7年度北秋田市文化祭は終えたが、文化祭の開催にあたり様々な疑問や意見が寄せられたことを踏まえて当局の見解をうかがう。</p> <p>1) 今回の文化祭に関して、特に演示部門の日程が短縮されたことについて尋ねる。 これに関して、これまでの2日間から1日に短縮された経緯と意図は何であったのか。また、事務局と実行委員会が互いに合意に至るための協議や調整はあったのか。</p> <p>2) プログラムの変更について、今回は、出演時間や出演者の記載がなく、出演時間の記載や出演者名の公開を求める声が強かった。このことについての見解をうかがう。</p> <p>3) 特別公演の管轄や観覧者のマナーに関する対応について、今回の特別公演に際して観覧者のマナーが問題だったようであるが、誰がどのように対処すべきであったのか説明を求める。</p> <p>4) 今回の文化祭において、芸文協会員以外の申込方法や広報の掲載時期についてどのようになされたか説明を求める。</p> <p>5) 文化功労賞等の選考・授与について 文化功労賞等の選考・授与については、北秋田市が平成29年度まで行っていたと記憶するが、何故、芸文協となったのかその理由と経緯をうかがう。また、その「覚書」等の文書があればその提示を求めるがいかがか。</p> <p>6) 文化祭予算案は、関係者の意見を十分に反映させるために、当局だけではなく関係者全体の意見を事前に取り入れたうえで編成すべきであったと考えるがいかがか。</p> <p>② ①での質問のように多くの問題を抱えながらの文化祭であったと関係者は述べているが、今後、市民にとって楽しみにしている文化祭の運営にあたっては事務局長サイドと実行委員とが十分協議を重ねたうえで合意し進めていくことが重要と考えるが、これを機会に北秋田市主催とした要綱改正をはじめとして、共催団体や実行委員会のあり方等を再検証して、より市民に親しまれる文化祭にすべきと考えるがいかがか。</p>						

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-4	質問者	2 三浦 優美	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨					理事者の答弁	
1. クマ対策について ①市としての対策は 1) 市として、これまでどのように対応してこられたのか。また、今後の方針についてお知らせください。 2) 市民から地域のやぶの刈り払いへの補助を求める声があります。検討できないでしょうか。						
2. 市職員の増員を ①市職員の増員の必要性について 1) 近年、大雨災害やクマ出没等が多発しています。市民生活を守る上でも、市職員の心身の過重負担とならないよう働く環境改善を図り、多様な課題に対応できるよう、市職員の増員が必要ではないでしょうか。市長の考え方をお聞かせください。						

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-5	質問者	13 板垣 淳	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨					理事者の答弁	
1. 森吉コミュニティセンターの改築について ①住民説明会の進め方は妥当だったか 10月9日の住民説明会で教育委員会は、建設場所は現在地周辺と米内沢病院跡地の2案あること、並びにそれぞれのメリット・デメリットを説明。参加者の多くは現在地周辺を希望した。ところが教育委員会は病院跡地にすることを宣言。結果、この説明会が住民にもたらしたもののは教育委員会への不信であった。説明会の持ち方は妥当だったと考えているのか。 ②住民とよく話し合って決めるべき 場所や機能については禍根を残した説明会を1回開いただけで進めるのではなく住民とよく話し合って決めるべきでないか。 ③この機会に図書館の充実を 読書に親しんでもらう環境を整えることは教育委員会の重要な仕事の一つであり、この機会に図書機能の充実を図るべきでないか。今回の改築にあたっての教育委員会の資料に「図書館(室)」とあるが、図書室への格下げなどもってのほかである。						
2. 森吉山荘の再開について ①住民との意見交換は行ったのか 今年6月議会の私の質問に市は「地元の方々と意見交換する」と答えた。その意見交換は実施したか。 ②温泉と食事付きで再開すべきでないか 多くの地域住民は元通りの形、つまり温泉と食事のある施設再開を望んでいる。その声に応えるべきでないか。						

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-1	質問者	3 松橋 史尚	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 熊対策について						
①北秋田市鳥獣被害防止計画について 令和5年度に、これまでの北秋田市の対応を検証しつつ、今後を見据えた令和6年から8年までの鳥獣による農林業等に係る被害を防止・軽減し、市民の安全で安心な生活環境を確保する目的で作られておりますが、令和7年度の北秋田市内における目撃情報や人身、農林業等の被害は甚大であります。また、飲食、サービス、小売りなど物価高で経営が苦しい中、来客数が減り追い打ちをかけられた状況は続いています。この計画をより実効性のあるものにする意味でも見直し、修正する必要があると感じますが、市長の考えをお聞かせください。						
②果樹木の伐採・整備について 現在は費用補助を以って対策としている果樹木の伐採であるが、所有者が遠方に居住している土地の果樹木については、自身に切迫した危険性が低いことからかその伐採処分について消極的と感じられる。こうしたケースについて自治体や町内会等と綿密な連絡の下に市が業者にその処分を委託するなど、主体的に取り組む仕組みを構築すべきと考えるが市長の考えは。						

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-2	質問者	8 久留嶋 範子	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市長
						理事者の答弁
<p>1. 今後の物価高対策について</p> <p>①政府が経済対策を示したが、当市としての今後の対策は 2025年度補正予算案の歳出とガソリン税の暫定税率廃止といった大型減税を合わせた対策の規模は、21兆円を超える見込み。物価高対策として、子供1人当たり2万円を給付する「子育て応援手当」に約4千億円、自治体が自由に使える「重点支援地方交付金」に2兆円計上する。規模はコロナ禍前の水準を大きく超えている。</p> <p>1) 政府が示した物価高対策についての受け止めと、「重点支援地方交付金」の拡充については、どう考えているか。</p> <p>2) 市では、プレミアム付応援チケット事業を実施したが、第1弾、2弾とも購入できなかつた市民がいたが、給付型で行うべきではなかつたか。また、追加販売時の混雑は今後の課題と考えるが、どう受け止めているか。</p> <p>3) 今冬も、昨年度同様、住民税非課税世帯に灯油購入券を助成してはいかがか。</p>						
<p>2. 不登校の児童生徒への対応について</p> <p>①当市での現状と、支援体制は十分か 全国の小中学校で不登校児童生徒は最多35万人超、12年連続の増加となっている。 県内の小中学校での不登校者数は前年度比80人増の2,027人となり、過去最多を更新。 県教育庁は「極めて深刻な状況」と受け止め「支援の充実を図る」としている。 当市での対応について、3点伺います。</p> <p>1) 学校をはじめ不登校の子どものための公的な居場所の質と量ともに拡充が急がれますか、当局の考えは。</p> <p>2) 空き教室を活用して校内で不登校の児童生徒をサポートする「校内教育支援センター」の設置状況は。</p> <p>3) 不登校の児童生徒がオンラインで学習した際に出席扱いとなる「ネット出席制度」の活用状況は。</p>						

3. 認知症予防へ聴力検査を

①聴力の低下は認知症のリスク要因とされます。認知症のリスク因子の中で、対策可能なことで最もその影響力が大きいのが難聴です。もしも世界から難聴がなくなったとしたら、認知症患者を8%減らすことができるといいます。難聴を予防することは、認知症を未然に防ぐことに直結するということです。すでに耳の聞こえが悪いという人にとっても、補聴器を用いて対策を施せば、認知症を予防したり進行を遅らせたりすることができる可能性があります。日本の65歳以上の難聴患者は、現在2,000万人を超えると言われています。

今年8月に、能代市で高齢者の聴力測定を通じて認知症予防につなげる検査会が開かれ、聴力のほか脳の健康度をチェックしたと報道されました。当市でもぜひ、実施できないものか、お問い合わせします。

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-3	質問者	5 永井 昌孝	(清明会)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨					理事者の答弁	
1. 公共施設等総合管理計画について ①遊休施設の活用について 1) 公共施設等総合管理計画の進捗状況と、再編施設の判断基準について。 2) 宮前町庁舎2階の現状の認識と、活用方針について。						
2. 経済政策について ①商工会について 1) 商工会の活動環境の現状認識について。 2) 商工会への支援策について。						
3. 熊対策について ①取り組みについて 1) ゾーニング管理の現状と今後の方針について。 2) 10年・20年後を見据えたハンター確保策について。 3) ガバメントハンター制度の導入検討について。 4) 新たな財源確保の取り組みについて。 ②保護者、学校現場の負担軽減策について 1) 通学支援の拡充とスクールバス基準の見直しについて。 2) 職場への支援策について。 3) ファミリーサポート事業の活用について。 4) 学校現場の負担軽減策について。 ③関係機関の連携について 1) 関係機関の連携強化と情報発信体制について。						
4. 友好交流都市「国立市」との体制整備について ①友好交流の充実に向けた体制整備について 1) 友好交流事業の予算措置について。 2) 交流を担当する部署と職員配置について。 3) 関係各課との連携体制の構築について。 4) 交流事業の年間計画の策定について。 5) 定期的な協議の場の設定について。						

一般質問通告書

令和7年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-4	質問者	1 木村 謙一 (無会派)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨				理事者の答弁	
1. 歩行者の安全対策について ①グリーンベルトの設置について グリーンベルト道路とは、歩道がない道路の路側帯を緑色に着色した、歩行者と車の接触事故を防ぐための交通安全対策です。主に通学路に設置され、ドライバーに「通学路である」ことを視覚的に認識させ、速度抑制と注意喚起を促すことを目的としています。 危険な場所へのグリーンベルトの設置について伺います。 1) 市内でのグリーンベルトの設置状況は。 2) 阿仁合駅周辺道路へのグリーンベルトの設置の考えはあるか。					
2. 阿仁萱草大橋の駐車場整備について ①写真撮影者用の駐車場の整備について 阿仁萱草大橋周辺では、観光シーズン問わずに秋田内陸線の撮影スポットとしてカメラ愛好家の方が撮影をされております。しかしながら駐車スペースがなく現状では愛好家が安心して訪れることができず地域活性化の機会を逃している現状であります。観光客の利便性向上だけでなく、地域住民への影響軽減や道路の安全確保も目的として整備が必要と考えるがいかがか。					
3. 熊による被害について ①今年の熊対策について 熊被害については、北秋田市はもとより全国的に出没や被害を伝えるニュースが続いています。正に異常事態で、市内でも7月に高齢女性が施設で襲われ亡くなるという痛ましい事態が発生しております。11月までに5人が被害に遭っています。街中にも熊が出没し市民生活を脅かしています。 その中で当市における熊対策の現状や今後の対策について伺います。					

- 1) 今回の熊騒動において、市内の小中学校、義務教育学校では保護者の方が登下校時に送迎を行ったと聞いていますが、不平や不満がなかったか伺います。
- 2) 「熊撃退スプレー」は緊急時には有効な必需品と思われますが、公共施設や学校への配備状況を教えて下さい。
- 3) 児童、生徒は熊の出没により、外で遊べない日が続いたと思いますが、公民館や市内体育館を無料開放されたのか伺います。
- 4) 獣害を防止するために必要な電気柵、防護柵、防獣ネット等の導入に係る費用として、獣害防止対策事業費補助金があるが、増額を考えていなか伺います。
- 5) 有害鳥獣を誘引する樹木の伐採の補助金として、北秋田市果樹木伐採補助金があるが、増額と果樹補償費の追加を考えていなか伺います。

4. 物価高対策について

①灯油クーポン券の配布について

昨年の冬も多くの方々が、燃料費の高騰で大変ご苦労されましたことから、是非、市民の皆さんにこの冬安心して暮らせるよう実施していただきたいと思うが、いかがか。